

行政・公的機関

1. 1	日本万国博覧会開催に伴う特別措置として、外客の宿泊に伴う料理飲食等消費税の非課税措置を実施(～12.31)
1.14	第3次佐藤内閣発足。橋本登美三郎運輸大臣就任
1.20	日・フィリピン航空協定調印。日本航空のマニラ寄港権取得(5.14発効)
1.22	日本・北欧3国航空交渉妥結。モスクワ経由北欧3国への運航に合意
3. 1	一般渡航用外貨持出限度額700ドルから1,000ドルに引上げ
3.11	運輸省観光部が「海外旅行業務の健全運営について」通達
4. 1	シンガポール政府観光局日本支局開設
5. 1	台湾観光協会東京事務所開設
5.12	ハイジャックに関する東京条約を批准(8.24発効)
5.18	「航空機の強取等の処罰に関する法律」公布(6.7施行)
5.20	「本州四国連絡橋公団法」公布施行
5.27	「旅券法の一部を改正する法律」公布(12.1施行)
6. 1	東京国際空港の税関検査に「デュアル・チャンネル・システム」採用
6. 1	「航空機内で行われた犯罪その他ある種の行為に関する条約第13条の規定実施に関する法律」公布(8.24施行)
6.15	日本とニュージーランド間に、30日以内滞在の査証・査証料相互免除協定が発効
7. 1	セイロン政府観光局東京案内所開設
7.14	日本の呼称を「ニッポン」に統一することを閣議決定
7.15	外務省が「渡航費用の支払能力を立証する書類について」告示
7.28	観光政策審議会が、諮問「経済社会の発展に伴う国民生活水準の変化に対応する観光のあり方及びそれを達成するための基本的方策いかん」に対して、第2次答申「望ましい観光の発展のために」を内閣総理大臣に提出
10. -	フランス政府観光局東京事務所開設
10.21	運輸政策審議会が、諮問「今後の航空輸送の発展に即応した航空政策の基本方針について」に対し、答申を運輸大臣へ提出
11. 5	運輸省が国内航空会社に、航空輸送運営の基本方針に対する協力を要請
11.20	「航空企業の運営体制について」閣議了解。全日空と東亜航空の合併、主要ローカル線2社運航、国際線の一元化、全日空の国際線近距離チャーター運航を認める
12. 1	旅券法の改正により、数次往復用旅券の発給基準が緩和され、有効期間は5年に
12. 2	運輸省が初の「ホテル白書」を発表

旅行業

1.26	富士海外旅行が、米国のトラベルワールドとの合併会社を東京に設立
3.10	ジャパン・グレイラインが、「Expo' 70ナイトツアー」を運行
4. 1	アメリカン・エクスプレスが、コンピューターによる海外ホテル2万7,500室の即時予約「スペース・バンク」業務を開始
4. 7	日本交通公社が、日本橋・高島屋に「タカシマヤ海外サロン」を設置
4.21	外務省が(社)国際交流サービス協会設立を認可。外務省関係の旅行の手配、接遇などを目的
5.14	太平洋観光協会(PATA)日本支部総会開催。1973年のPATA東京総会の受入れなど検討
6.10	平和相互銀行グループがミヤコ・トラベル・サービスの買収を、日本地区IATA(国際航空運送協会)代理店審査委員会(AIP)に申請
7.17	「トラベルジャーナル」紙が、旅行会社の従業員を対象に、第1回「トラベル・フェスティバル」を開催
8. 1	永楽ニュー・ジャパンが「菱和航空サービス」に名称変更(三菱銀行の系列に)
8. 3	JATAが「旅券申請手続説明会」を開催
8.17	PATA本部が、「トラベル・マーケティング・セミナー」を東京で開催。「北米旅行業者の太平洋旅行販売の実態と将来の傾向」およびボーイング社の「太平洋航空旅行の将来」をプレゼンテーション
8.27	JATAが「旅行業法案説明会」を開催
8. -	東京銀行が内外航空サービスにてこ入れ
9. 1	日本海外旅行が「ダイヤモンド航空サービス」に名称変更(三菱銀行の系列に)
9.18	JATAが、ガイド料金の改定について検討
10. 1	羽田税関支署が、税関検査場への旅行あつ旋業者の立入制限を実施
10. 1	世界旅行と日通が、ホノルルに連絡事務所を開設
10.2	全日空が、旅行あつ旋業、広告代理業、空港売店の経営等を行う全日本空輸商事(株)を設立
11. 3	日本交通公社が、初のジャンボ機チャーターを実施
12. 1	JATAが、渡航手数料を一律2,000円に改定

航空

1. 1	太平洋線バルク(一括契約包括旅行)運賃発
1. 3	エールフランスが大阪線の運航開始
1. 6	ノースウエスト航空が東京/ロサンゼルス線の運航開始
1.12	日本/オセアニア間に、30%割引のIT運賃、アフニティ運賃など導入
2. 2	中華航空が香港/東京/サンフランシスコ線の運航開始
2.19	国際航空運送協会(IATA)と米国航空運送同盟(ATC)が、大量輸送時代を迎える航空会社と代理店業務のシステム開発のため、コンピューターとチケット検討会議を東京で開催(～2.24)
2.24	IATAの広報委員会が、「変革する航空会社」と「変革するメディア」をテーマに京都でシンポジウムを開催(～26)
3. 1	全日空が東京/福岡線の運航開始
3.11	パンアメリカン航空のB747が羽田空港に初飛
3.28	日本航空がモスクワ経由バリ線の自主運航開始
3.31	日本赤軍派が、日本航空のB727「よど号」をハイジャック。平壤へ回航、4.5に解決
4.10	エールフランスがシベリア経由東京/パリ線の運航開始
5. 1	全日空が名古屋/八丈島線の運航開始
5.20	国際空港管理委員会(AOCI)と国際民間空港協会(ICAA)が、「国際空港会議」を京都で開催し、ジャンボ機の受入対策などを検討
5.24	日本航空がシドニー線のマニラ寄港開始
5.30	東京国際空港の国際線到着ターミナルビル落成
6. 1	全日空が小松/新潟/札幌線の運航開始
6. 2	日本航空が東京/モスクワ/ロンドンの運航開始
7. 1	日本航空のB747が初就航。太平洋線に
7. 4	東京国際空港国内線改札口に、金属検出器設置
7. -	ノースウエスト航空にB747就航
8.19	ニクソン大統領が、日本航空のアンカレッジ経由ニューヨーク線と、サイパン経由グアム線の運航を承認
8.19	全日空のB727が浜松上空でハイジャックされ、浜松北基地に緊急着陸。全員無事
10. 1	日本航空が東京/グアム線の運航開始
10. 1	グアム回遊運賃導入
10. 5	全日空と横浜航空が業務提携
12. 1	全日空が名古屋/鹿児島線の運航開始

海陸交通／ホテル／保険／その他

- 1. 4 アメリカン・プレジデント・ラインズ (APL) の「プレジデント・ルーズベルト」(1万8,300トン)、世界一周クルーズの途次に横浜寄港
- 2.16 ホテル・ステーション・プラザ(福岡、248室)開
- 2.22 ニューポート・ホテル(神戸、207室)開業
- 3.10 帝国ホテル新本館(700室)開業
- 3.26 フィリピン・プレジデント・ラインズ (PPL) の「プレジデント」(1万2,457トン)が、神戸／マニラ間の定期客船航路に就航
- 5.13 ホテル・サンルート・チェーン発足
- 6.11 アメリカン・プレジデント・ラインズ (APL) が、横浜／神戸／基隆／香港／マニラ航路の運賃の8～17%値下げを発表
- 6.19 下関／釜山間を、「関釜号」(3,800トン)が運航開始(関釜フェリー)。週3航海、所要時間7時間
- 6.26 フィリピン・プレジデント・ラインズ (PPL) が、横浜／マニラ間の定期客船の運航開始
- 7. 1 東急ホテル・チェーン発足
- 7. 1 日本航空開発(株)、ホテル経営を主な目的として設立
- 7. 1 本州四国連絡橋公団設立
- 7. 2 東海道新幹線開業後の利用人員が3億人を突
- 7. 7 秋田キャッスル・ホテル(206室)開業
- 7.15 ウェスタン・インターナショナル・ホテルズ (WIH) 東京事務所開設
- 8. 1 阪急ホテル・チェーン東京事務所開設
- 9.28 国際航空保険連合 (IUAI) 第30回年次総会、京都で開催。30カ国・180人出席(～10.4)
- 9.30 商船三井客船設立
- 9.30 日本ホテル協会秋季総会、熱海で開催
- 10. 1 プリンス・ホテル・グループがウェスタン・インターナショナル・ホテルズ (WIH) と代理店契約を
- 10. 1 国鉄青森／鹿児島間電化ルート完成
- 10. 2 山陽新幹線六甲トンネル(日本最長16.22km)貫通
- 10. 6 国鉄が「ディスカバー・ジャパン」の宣伝開始
- 12.30 東北、上越、成田新幹線の着工決定

社 会

- 1. 2 日本銀行が、国際決済銀行(BIS)への出資および加盟を発表
 - 2.11 東大宇宙航空研究所が、初の人工衛星(ラムダS5号)打上げに成功。「おおすみ」と命名。人工衛星打上げ成功はソ連、米国、フランスに次いで4番目
 - 3. 1 国際観光振興会(JNTO)が、言葉が通じないで困っている外客を善意で助ける「善意通訳運動」を実施(～9.30)
 - 3.15 日本万国博覧会が大阪千里丘陵で開幕。77カ国・4国際機関が参加(～9.13)
 - 3.31 八幡製鉄、富士製鉄が合併。新日本製鉄発足
 - 4.28 「著作権法」施行。保護期間は死後50年
 - 5.11 日本山岳隊、エベレスト登頂に成功
 - 6.23 全国で日米安全保障条約自動延長反対統一行動集会。デモ参加者77万人
 - 7.14 NHKが特別番組「ジャンボ時代の海外旅行」を放映
 - 7.18 東京都杉並区で、女子高校生40数人が「光化学スモッグ」で倒れる
 - 7.22 静岡県田子の浦で、製紙カスのヘドロで航路が埋まり、市民団体などが告発
 - 7.31 中央公害対策本部設置
 - 8. 2 新宿、銀座などで、日曜日に「歩行者天国」実
 - 9.13 日本万国博覧会閉幕。入場者は6,422万人
 - 11.2 衆議院議員選挙。沖縄で初の国政参加選挙
 - 11.3 作家三島由紀夫らが自衛隊に乱入し、割腹自
 - 12.2 (財)交通文化振興財団設立
 - 12.20 沖縄のコザで、市民が米国人の自動車、基地内の小学校を焼討ち
- 〔ベストセラー〕 塩月弥栄子「冠婚葬祭入門」、曾根綾子「誰のために愛するか」、立原正秋「冬の旅」、藤原弘達「創価学会を斬る」
 〔ヒット曲〕 内山田洋とクール・ファイブ「逢わずに愛して」、藤圭子「圭子の夢は夜ひらく」、由紀さおり「手紙」、ソルティ・シュガー「走れコウタロー」、岸洋子「希望」
 〔ヒット番組〕 YTV「遠くへ行きたい」
 〔流行語〕 ハイジャック、ヘドロ、シラケル、ppm、ビューティフル、ウーマンリブ、光化学スモッグ
 〔ヒット商品〕 100円化粧品、使い捨てガスライター

海 外

- 1. 1 米国商務省観光局(USTS)が、英、仏、独、西、日語で電話による案内開始
- 1. 1 英国の旅行制限緩和。1回50ポンドを300ポンドに引上げ
- 1.22 パンアメリカン航空のB747が、定期路線(ニューヨーク／ロンドン)に初就航(大量輸送時代の到来)
- 4. 8 太平洋観光協会(PATA)ワークショップ、タヒチのバペーテで開催(～9)
- 4.13 PATA第19回年次総会、オークランドで開催。1973年総会の東京開催を決定(～17)
- 4.13 私法統一国際協議会(UNIDROIT)が、「旅行者に関する国際規約草案」についての国際会議をブリュッセルで開催(～23)
- 5. 1 米国が北爆を再開
- 5. 5 国際団体連合(UIA)第5回会議組織に関する国際会議、スペインのバルセロナで開催(～9)
- 6. 4 東アジア観光協会(EATA)第4回総会および第15回理事会、台北で開催(～5)
- 6. 4 トンガ王国独立
- 6.16 国際民間航空機関(ICAO)臨時総会、モントリオールで開催。ハイジャック防止問題を協議(～30)
- 7. 1 米国で国際通行税(3ドル)の課税を開始
- 8. 1 アメリカン航空がハワイ・南太平洋線に進出
- 8.29 DC-10初飛行に成功
- 9. 1 コンコルドがマッハ2を記録
- 9. 6 アラブ・ゲリラがヨーロッパ各地で航空機を連続ハイジャック
- 9.17 官設観光機関国際同盟(IUOTO)臨時総会、メキシコで開催。IUOTOを政府機関にする規約改正案(世界観光機関憲章)を採択(～28)
- 10.10 「テキサス州見本市」開催。国際観光振興会(JNTO)が、栃木県、神奈川県、静岡県と共同参加(～25)
- 10.10 フィジー独立
- 10. 1 カナダと中国が国交樹立
- 11. 1 米国旅行者協会(ASTA)第40回世界大会、アムステルダムで開催(～6)
- 11.2 L-1011がカリフォルニアで初飛行に成功
- 11.20 国連本会議が、中国招請・台湾追放決議を可
- 12. 2 米上院が、SSTの米本土上空の飛行禁止を決
- 12.1 ICAOがハイジャック防止条約を採択